

4 令和4年度各支部の活動状況（中央ブロック）

水戸市

1 研究主題

- 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援のあり方

2 事業内容

- (1) 市特別支援教育研究部第1回部員研修会 [書面確認]
- (2) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 美術展の作品とりまとめ会 11月29日(火) [場所：国田義務教育学校]
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月2日(金)～5日(月) [場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (4) 市特別支援教育研究部第2回部員研修会 11月30日(水) [場所：オンライン開催]
講演「特別支援学級における指導・支援の在り方」
講師 大津 智子 先生(水戸市特別支援教育専門員)
- (5) 市特別支援教育研究部第3回部員研修会 2月28日(火) [場所：オンライン開催]
講演「学習にさまざまな困難を抱える児童生徒への支援」
講師 楊箒 雅江 先生(水戸市特別支援教育調査員)

3 今年度の成果

- ナイスハートふれあいフェスティバル2022では、市内の役割分担を明確にしたため円滑に作品の搬出・搬入を行うことができた。また、多くの児童生徒の作品を展示して鑑賞していただいたことにより、児童生徒の意欲の向上につながった。
- オンラインによる部員研修会を2回実施することができた。自立的活動や合理的配慮、具体例による支援の在り方などについて理解を深めることができた。

笠間市

1 笠間市教育研究会特別支援教育部 令和4年度運営方針

- 特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、自己の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加ができるよう、一人一人の「生きる力」を培う教育の充実を図る。

2 事業内容

- (1) 第1回市教研特別支援教育部研究協議会 5月11日(水)
※ 感染予防のため、文書にて開催
- (2) 中央地区特別支援教育部研修会及び市教研特別支援教育部研究研修会 8月5日(金) [オンライン]
講演「特別支援でのiPad活用～みえる・わかる・できる・つかえるアイデア」
講師 日立市立大久保小学校 内田義人教諭
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月2日(金)～5日(月) [ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (4) 手をつなぐ子らの親善交歓会 11月11日(木) [笠間市民体育館]
※ 新型コロナウイルス感染症予防のため、中止
- (5) 笠間市教育研究会児童生徒美術展覧会並びに手をつなぐ子らの作品展 11月26日(土)～27日(日) [茨城県陶芸美術館県民ギャラリー]
※ 市美術展覧会及び友部特別支援学校、友部東特別支援学校と共催

3 今年度の成果

- 特別支援教育における効果的なICT機器の活用法について研修を深めることができた。
- 3年ぶりの手をつなぐ子らの作品展は、来場者が約3,000名に上るなど、盛況に開催することができた。

ひたちなか市

1 令和4年度 研究目標等

(1) 令和4年度研究目標

特別支援教育における一人一人に即した支援・指導の在り方
(一人一人の児童生徒のニーズに応じた支援・指導の工夫)

(2) 令和4年度努力点・工夫改善点

- ・研修会等の実施を通して、一人一人に即した支援・指導の在り方について研究を深めていく。
- ・文書連絡等を活用することで、効率的に事業を実施していく。

2 事業内容

(1) 第1回特別支援教育研究部員会 5月10日(火) 【ひたちなか市立美乃浜学園】

(2) 小学校・義務教育学校前期課程合同校外学習下見 中止

(3) 小学校・義務教育学校前期課程合同校外学習担当者会 中止

(4) 市教育研究会夏季研究協議会 8月2日(火) 【ひたちなか市文化会館】

発表者 勝倉小学校 教諭 大森正義教諭 山崎昭子教諭 山口美香教諭

テーマ 特別支援教育における一人一人に即した支援・指導の在り方ー自立活動・生活
単元学習の実践を通してー

発表者 勝田第一中学校 教諭 鳩山裕子教諭

テーマ 一人一人の教育的ニーズに応じた支援・指導の在り方ー授業作りや時間割の工
夫を通してー

講師 茨城県水戸教育事務所学校教育課 中根英範氏

(5) 小学校・義務教育学校前期課程合同校外学習 中止

(6) 中学校・義務教育学校後期課程合同校外学習下見 中止

(7) 中学校・義務教育学校後期課程合同校外学習担当者会 中止

(8) 中学校・義務教育学校後期課程合同校外学習 中止

(9) 手をつなぐ子らの作品展(市芸術祭) 11月9日(水)~13日(日) 【松戸体育館】

(10) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月2日(金)~4日(日)

【ザ・ヒロサワ・シティ会館】

(11) 市特別支援教育研究部研修会 2月8日(水) 【ひたちなか市役所】

講師 ひたちなか市教育委員会指導課指導主事 藤田知之氏

テーマ 特別な支援が必要な児童生徒の理解について等

3 本年度の成果及び課題

- ・重点研究部として夏季研究協議会を実施した。小学校、中学校の実践発表を行い、研究協議を通して、優れた実践を共有することができた。
- ・市内合同校外学習については、新型コロナウイルスの感染症の状況を踏まえて中止とした。
- ・作品展については、希望する学校において出展し、発表の場とすることができた。
- ・本年度も新型コロナウイルス感染症の状況から、小学校、中学校の合同校外学習については、3年連続で未実施となった。合同校外学習お経験している部員も少なくなり、実施するに当たっては、留意して進めたい。

常陸大宮市

1 研究主題

- 自主性・自立性を育む校内支援体制の在り方と、担当者の専門性の向上

2 事業内容

- (1) 市特別支援教育研究部第1回部員研修会 5月2日(月)
〔場所：おおみやコミセン〕
- (2) 手をつなぐ子らの「こんにちはの会」 6月〔場所：各学校〕
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月2日(金)～5日(月)
〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館〕
- (4) 市特別支援教育研究部第2回部員研修会 1月〔文書開催〕
- (5) 手をつなぐ子らの「お別れの会」 2月〔場所：各学校〕

3 今年度の成果

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、手をつなぐ子らの行事を各学校で実施するなど開催可能な方法に改善を図った。また、市教研の予算を活用して各学校で行事を行う際に必要となる物品を購入し、各学校の取組を支援した。
- ナイスハートふれあいフェスティバルへの参加を美術展のみとしたことから、特別支援関係の行事に対する市内の役割分担を変更するなど改善を図った。
- 本年度は、特別支援学級の授業や自立活動等についての研修を行う機会を設けることができなかった。来年度は、研修会を開いて特別支援学級担当の教員の資質能力の向上を図っていききたい。

那珂市

1 令和4年度研究テーマ

「一人一人のニーズに応じた合理的配慮に基づく支援の在り方」

2 主な事業

- (1) 第1回研究部員研修会 4月21日(木)〔那珂市立瓜連小学校〕
研究組織、研究テーマ、研究計画作成
- (2) 小学校校外学習 7月8日(金) B班(4校)大洗方面 【中止】
- (3) 中央地区特別支援教育研修会
8月5日(金) 【オンライン開催】
講話「特別支援でのiPad活用」
講師 日立市立大久保小学校 内田 義人 先生
- (4) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会
8月25日(木) 【オンライン開催】
講話「自閉症スペクトラムの子供の理解」
講師 臨床心理士 山崎 浩一 先生
- (5) ひまわり集会 10月～12月 各学園毎に実施(制作活動, 交流活動)
- (6) 手をつなぐ子らの作品展 11月4日(金)～6日(日)〔那珂市総合センターらぼーる〕
- (7) 特別支援教育研究部研修会 11月18日(金)〔那珂市立菅谷東小学校〕
講話「令和5年度からの特別支援教育課程編成等について」
講師 那珂市教育支援センター 村上 満江 先生
- (8) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 美術作品展出品
12月2日(金)～5日(月)〔ザ・ヒロサワ・シティ会館〕

3 今年度の成果

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、昨年度より行事を実施することができた。小学校の校外学習については、今年度も実施を見送った。来年度以降、どのような実施の仕方がよいか検討していく必要がある。
- ・ 令和5年度からの特別支援教育課程編成に関する研修会を計画した。講師の先生のご指導により、各校の実態に合わせた見通しをもつことができ、情報交換の時間ともなった。来年度、円滑に教育課程を進めることができるようにしていきたい
- ・ 児童生徒の交流をもとに進めることが多いため、今後も新型コロナウイルス感染拡大への配慮を十分に行いながら進めていけるよう事業を行っていきたい。

小 美 玉 市

1 研究テーマ

- 一人一人の豊かな人間性を育む特別支援教育の在り方

2 事業内容

- (1) 第1回部員会（書 面） 5月11日 研究組織, 研究主題, 研究計画 等 *書面開催
- (2) 第2回部員会（代表者） 5月19日 事業内容検討等
- (3) 第3回部員会（代表者） 7月28日 市内学校における様式の検討
- (4) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会（オンライン） 8月25日
講話「自閉症スペクトラムの子供の理解」
臨床心理士 山崎 浩一 氏
- (5) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月2日～5日
会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館
- (6) 第1回研修会 12月16日
個別の教育支援計画、個別の指導計画についての学習会
- (7) 第2回研修会 2月13日
講話「特別支援教育における配慮を要する児童および保護者への関わり」
笠間市子ども育成支援センター 内田 幸枝 先生

3 成果と課題

- 呼びかけをした結果、昨年よりも多くの学校が「ナイスハートふれあいフェスティバル作品展」に参加することができた。
- コロナ禍のため対面による研修会等を控えてきたが、本年度は対面による研修会を複数回実施することができた。各校の実情や悩みについて情報を交換する機会がもてたことがよかったという部員の声が多く聞かれた。

東茨城郡

1 研究主題

- 一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進

2 主な事業内容

(1) 三町研究部長会

第1回(6月) 活動内容確認…コロナ感染症のため中止

第2回(3月) 今年度の反省、次年度の目標・計画案の作成…コロナ感染症のため中止

(2) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会：8月25日(オンライン)

(3) 中央地区特別支援教育研究部研修会：8月5日(オンライン)

(4) ナイスハートふれあいフェスティバル2021 12月2日～5日〔ザ・ヒロサワ・シティ会館〕

※ 郡内全校美術展に参加

3 各町教育研究会特別支援教育研究部の取組

- 茨城町
 - ・部員研修会
 - ・町内支援学級合同体験学習…コロナ感染症のため中止
- 大洗町
 - ・部員研修会
 - ・町内支援学級合同校外学習…コロナ感染症のため中止
- 城里町
 - ・部員研修会
 - ・町内支援学級合同交流学習…コロナ感染症のため中止

那珂郡

1 令和4年度年度方針 「自立と社会参加へ向けた特別支援教育の推進」

2 事業内容

(1) 第1回郡教研特別支援教育部員会 5月10日(火) [東海村立照沼小学校]

・年間計画について ・研修会について ・合同学習会について

(2) 特別支援教育に係る研修会 9月15日(木)

・講演「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方について」

・講師：石田 隆雄 氏 (東海村発達支援カウンセラー) [場所：東海村役場]

(3) 第2回郡教研特別支援教育部員会 9月27日(火) [オンライン]

・手をつなぐ子らの作品展について ・東海村「やったん祭」の出店について

(4) 第3回郡教研特別支援教育部員会 10月12日(水) [オンライン]

・令和5年度からの特別支援学級の教育課程編成に係る研修

(5) 手をつなぐ子らの作品展 11月3日(木)～6日(日) [東海村総合体育館]

(6) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月2日(金)～5日(月)

(展示部門参加) [場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館]

(7) 第4回市教研特別支援教育部員会 2月8日(水) [オンライン]

・今年度の振り返りについて ・次年度計画について ・引き継ぎについて

3 今年度の成果

- 手をつなぐ子らの作品展では、児童生徒が自分で制作した作品を展示公開することで、自信と意欲を高めることができた。展示公開の準備を郡内全ての学校の特別支援教育部員が協働で行い、各校の作品づくりのアイデアを見たり、聞いたりすることで、今後の支援に役立つ情報を交流することができた。
- ナイスハートふれあいフェスティバルの展示発表では、県内の多くの方に見ていただく機会をもつことで、児童生徒の自信と意欲を高めることができた。

- 特別な教育的ニーズのある児童・生徒の理解と支援の在り方について、講演会、研修会などを通してよりよい支援の在り方について理解を深めることができた。

久慈郡大子町

1 研究主題

- (1) 研究テーマ「一人一人の持つよさを伸ばし、「生きる力」を培う指導の在り方」
- (2) 努力点
 - ・一人一人の教育的ニーズに対応した支援及び連携の在り方
 - ・個別の指導計画に基づいた指導方法の工夫と個別の支援計画の作成

2 事業内容

- (1) 大子町教育研究会特別支援教育研究部指導法研修会（事業計画） 4月14日（木）
〔場所：だいが小学校〕
- (2) 交流学習（特別支援学級児童と大子特別支援学校児童生徒との交流会）〔新型コロナウイルス感染症拡大により中止〕
- (3) 中央地区特別支援教育研修会 8月5日（金）〔オンライン〕
- (4) 中央地区自閉症・情緒障害特別支援教育担当者研修会 8月25日（木）〔オンライン〕
- (5) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月2日（金）～5日（月）
〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館〕
- (6) 大子町教育美術展 1月28日（土）～2月2日（木）〔場所：中央公民館〕
- (7) 大子町教育研究会特別支援教育研究部研修会（事業反省） 2月〔文書開催〕

3 今年度の成果

- ナイスハートふれあいフェスティバルに作品を展示し、多くの方に見ていただく機会を得たことで、児童生徒の意欲を高めることができた。
- 小学校の校外学習として大子町として見学することはできなかったが、小学校単位で見学を行い、多くの作品に触れる機会となった。